

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容

①「環境」について

ア 海洋教育の充実

総合的な学習の時間、社会、理科を中心に海洋教育を実践し、学習内容と地域の海を結び付けて深く考えさせることで、海と生きてきた地域住民としての自覚を養い、生涯に渡って自然と向き合い、地域の優れた環境を守ろうとする思いを育成するようにしている。

イ 鮭の人口受精・飼育・放流学習

第3学年では気仙沼市役所水産課、気仙沼サケマス増殖組合の協力のもと、人工授精させた卵をふ化させ、鮭の成長を願って放流した。4年生では鮭を放流した大川の水質を調査し、5年生では大川が注ぐ太平洋へと視野を広げ、気仙沼市の水産業を支える海の恵みについて探究的に学んでいく。学年を超えた学びのつながりを意識し、生命を育む海の豊かさに気付かせるようにしている。



【人工授精の様子】

②「防災」について

ア 防災タイムの実施

毎月11日の業前活動の時間を防災タイムとし、短時間（15分）でできる防災教育を実施している。防災タイムでは緊急時の整列の仕方や避難経路の確認、ミニ避難訓練、地震や津波に備えるためのDVDの視聴などを行っている。3月には宮城镇魂の日に合わせてロング防災タイムを行い、復興についての自分の考えを書かせるようにしている。

ア 防災クラブの設置

防災クラブでは、備蓄倉庫調べ、泥水の濾過、サバイバル炊飯、通学路点検、防災かるたづくり等を行っており、クラブ活動で学んだことを学級で共有する時間に力を入れている。



【防災の知識を共有する様子】

③「食育」について

ア オリジナル気仙沼弁当づくり

未来に残したい気仙沼の食材を、環境・経済・復興の視点で選び、選んだ食材を使ったオリジナル弁当を作った。平成28年度は地域にある割烹「世界」の坂本さん、給食栄養士の千葉さんの協力のもとで調理実習を行い、「ホタテの炊き込みご飯」「メカジキの煮付け」「フカヒレコロケ」等を作った。

弁当づくりを通して児童は地域の食材やその食材を育てる自然環境のすばらしさを実感し、気仙沼市の魅力を未来に残していきたいと考えるようになった。



【完成したオリジナル弁当】

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（クラブ活動の一つに防災クラブを設置し、活動している）